

三陸の海・岩手の会 10 周年記念 “大”交流会のご案内

2005 年 2 月発足した「三陸の海を放射能から守る岩手の会」は今年で満 10 年になりました。以来三陸の海を放射能から守り人々が安心し心豊かに住める国を目指し、六ヶ所再処理工場の操業に反対し活動してまいりました。日本原燃、青森県、国、岩手県、日本原子力研究開発機構(東海再処理工場)等へ質問状、質問主意書、要請書や 10 万筆を越す署名の提出を始めとし、広報、学習会など多くの市民団体や生協、労組、個人のみなさんのご協力ご支援を得ながら、無我夢中でやってきました。

私たちは原発よりも先に再処理工場で大きな事故が起きるのではないかと、小事故の度に事業者へ抗議や質問などを行なってきました。しかし、福島第一原発の過酷事故が現実のものになり、当地も放射能で汚染されてしまいました。3・11 以降は汚染された現実への対応、食の安全、健康診断、モニター、汚染物の焼却問題などさまざまな問題に現地の人たちや他団体への支援・協力など活動は広範なものになりました。

また、さまざまな情報から岩手県は高レベル放射性廃棄物の最終処分場の候補地として狙われていることがわかりました。候補地として岩手が挙げられた場合の対応について、今から準備をしておこうと他団体等と打ち合わせを始めているところです。

振り返りますと、2006 年 3 月末に開始された六ヶ所再処理工場のアクティブ試験は 2007 年 8 月竣工の予定でした。しかし 7 年経過した今、21 回目の竣工延期中であり現在は新規基準の審査中です。このように本格操業を延期させ続けることができたことは青森県の市民団体等を始め、全国の市民団体・個人や岩手県における、みなさんと私たちの運動の大きな成果でないかと思っております。今まで多くのみなさんのご協力、ご支援を得、試行錯誤を繰り返しながらも事業者や行政へ訴えてくることができました。

ストップ再処理の活動は続きますが 10 周年を迎えたこの節目に、この間さまざまな思いを胸に運動を続けてこられた多くのみなさんと交流会を開催することに致しました。みなさんとお会いし、お互いゆっくりとお話しながら地酒を酌み交わし、再処理のみならず、再稼働、安保法案、沖縄普天間基地などなど、社会問題全般を共有できる機会にしたいと思っております。

宮沢賢治ゆかりの大沢温泉自炊部で、賑やかで和やかな時間を一緒にしましょう。

お気軽に多くの方がご参加くださいますよう、お待ちしております。 (世話人一同)

.....

三陸の海・岩手の会 10 周年記念 “大”交流会

- 1) 会場 花巻市大沢温泉自炊部大広間：花巻市湯口字大沢 18 電話 0198-25-2021
 - 2) 2015 年 9 月 26 日 (土) 午後 2 時～午後 6 時 意見発表交換会 午後 7 時～10 時 夕食交流会
27 日 (日) 午前 7 時～朝食 午前 8 時半～10 時半 打ち上げ交流会 11 時散会
 - * 温泉はご自由に適宜ご入浴ください。
 - * 交流会場 (大広間) が就寝場所になりますが、少しだけですが小部屋も用意します。
 - * お一人 3～5 分スピーチをお願いします。(自己紹介+内容は自由)
 - 3) 内容 意見発表交換会：活動報告・問題提起 (30 分永田)、意見発表* (10 分程度)
全体の意見交換会 (スピーチなど) * 事前申込の方
打ち上げ交流会：前日の意見交換会・交流会の総括と交流会アピール採択
 - 4) 会費 10,000 円 (夕食、朝食、飲み物代ほか、税込み)
 - * 日帰りで夕食交流会まで参加の方は 6,000 円
 - * 一品持ち寄り 飲み物、食べ物等 歓迎致します。 * 朝食 参加者で準備
 - 5) 参加申し込み 8 月 31 日まで FAX: 019-621-3085 専立寺 (日野岳) あて
Email: hiro.8rada@dream.com 原田 あて
- * 欠席の方 近況やメッセージを頂けると嬉しいです。 (幹事)

*欠席される方：下記へお名前、ご意見ご要望欄にメッセージをお願いします。

三陸の海・岩手の会 10周年記念 “大”交流会 参加申込書

日時 9月26日(土)～27日(日)

☆ 参加 名 (男 名、女 名) 参加しない

☆ お名前

☆ ご住所 〒

☆ 電話 (携帯)

☆ 以下に○をつけて下さい

意見発表する しない

全日宿泊参加 ()、全日参加しかし宿泊はしない ()

一日のみ参加 (26日、27日)

ご意見ご要望、メッセージなどご記入下さい。